



今月号の内容

- (1面) 末吉観道会長のご挨拶
- (2面) 全国各地の「一日伝道」
全国の聖徒さん紹介
- (3・4面) 新年のご挨拶
- (5面) 日蓮大聖人の歩まれた道
北関東教区会議
- (6面) よろこび法話
全国のよろこびちゃん

平成29年(2017年)1月1日(日)
1月号

発行所
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-25-11
九段中央ビル702
日蓮宗霊断師会九段事務所
電話 03-6272-9340
FAX 03-6272-9341

日蓮宗霊断師会
会長 末吉 観道
編集人 松本 恵昌
購読料 1部 100円(税別)
毎月1回1日発行
日蓮宗霊断師会ホームページ
<http://www.yorokobi-reidanshikai.jp>
よろこび投稿メール
yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp

新年のご挨拶と会の抱負



日蓮宗霊断師会 会長
利生寺聖徒団团长
末吉 観道

平成二十九年の新春を迎え、謹んで全国海外聖徒各位の弥栄を祈り、各聖徒団の輝かしい将来を寿ぐものであります。年頭にあたって聖徒の皆様には、この一年安全で安心で安穏な生活を送れるようにと明るい希望と決意を抱き、その実現を壽量御本佛、日蓮大聖人に祈念されたことと存じます。

各地で、今も多くの人が貧困と不安と混乱の中で日々生活しています。そんな世界を一日も早く浄佛国土にしたいものです。その為に、私たち聖徒は大聖人の御聖訓の「此経の信心と申すは、少しも私なく、経文の如くに、人の言を用ひず、法華一部に背く事無れば、佛に成り候ぞ。佛に成り候事は別様の候はず、南無妙法蓮華経と他事なく唱え申して候へば天然と三十二相、八十種好を備ふる也。如我等無異と申して、釋尊程の佛にやすやすと成り候也。」とお言葉を肝に銘じ、本年も私見や無責任な言葉に惑わされず、南無妙法蓮華経を信じ、俱生

神月守をしつかり着帯し、お題目の道を持ち・行い・護り・弘め奉る四誓の願行に精進いたしましょう。重ねて皆様のご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



日蓮宗霊断師会 本部長
本成寺聖徒団团长
天野 行淳

新春のお慶びを申し上げます。旧年中は本会の事業にご理解を頂いた上に、多大なるご協力を賜りましたことを、此の紙面をお借りして御礼申し上げます。誠にありがとうございます。



日蓮宗霊断師会 靈断院 副院長
妙福寺聖徒団团长
野澤 壯監

平成二十九年を迎え、全国の聖徒の皆様が新年のご祝詞を申し上げます。さて、この数年自然災害が続き、生活に身近な場所でも不慮の事故や事件が頻発するなど、誠に物騒な世の中になって参りました。

世相を反映してか、各宗教・各宗派の僧侶による人生相談がインターネット等SNSの世界でも関心を集めているようです。しかし、そうした試みもお経文や高僧の言葉のやり取りで一時の心の安らぎを得るのみで、人と人との間に生じる不可思議な心の交流に欠け、真の問題解決には到っていないと感じます。

私たちの霊断法は、最も皆様の人生を充実させ、安心をもたらすための開運の秘法です。霊断師は、信仰を通じて皆様と一緒に祈り励まし合い、御本仏様の神秘の御加護をいただき、一人一人の事情について具体的かつ現実的に運命改善のお手伝いをいたします。今年もより一層霊断法を活用され、信行に精進されんことを心よりお祈り申し上げます。

迎春



七面山からの御来光

聖徒の皆さんの支えを頼りに会勢を揺るぎないものにしていきたいと念願しております。そのためにも人が行き交わねばなりません。身延大会には一人でも多くの聖徒さんに参加して頂き、一日伝道や聖徒講習会を積極的に開催していくことよって、本会の足音を響かせていきたいと願っております。我々は宗祖の願いを実現する為の担い手です。ぜひ、宗祖の願いの達成を目指し、祖道を歩む足音を全国に響かせる一年にして参りましょう。



津軽宇田山 聞法寺



1月16日(月) 午前9時半より
「正月御本尊祭」
1月29日(日) 「盛運祈願会」

〒030-1403
青森県東津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2
TEL 0174-25-2712
住 職 工藤 堯幸・副住職 工藤 堯慎

妙正寺聖徒団
日下曜基さんご家族



1月1日(日)午前0時 元朝参り
1月8日(日)午前11時 年頭会
毎月1日午前10時 盛運祈願会

北海道妙正寺聖徒団
〒071-1423
北海道上川郡東川町東町2丁目6-3
TEL 0166(82)2714
FAX 0166(82)2914



いかにされるよろこび
美濃乃國
常唱寺 聖徒団

〒501-3734
岐阜県美濃市千畝町2738-2
TEL/FAX 0575(33)1430

本山 妙頭寺
山 佐野



天目聖人御報恩
平成屋根等大改修
ご寄付募集中!

●郵便振替
口座番号 00180-6-267327
口座名義 妙頭寺建設委員会

〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264
TEL 0283-22-1524
FAX 0283-22-4194
<http://www.sano-myoukenji.jp>

感通寺



日蓮宗霊断師会終身名誉会長
感通寺聖徒団团长
新聞 智雄

〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966

身延山に行ってきました



千葉県
正文寺
聖徒団

(齋藤貞幹団長)

(左) 鈴木 恒雄さん
(右) 鈴木 とみさん
「身延大会は十一回目ですが、今回の唱題行はとても良かったです。明るい中に始まり、終わる頃は暗くなっていて印象的でした。」



島根県
妙本寺福
徳聖徒団

(吉田亮善団長)

小澤 浩さん
「身延山に初めて来させていただきました。とても厳かな雰囲気です。とても良かったです。」



島根県
妙本寺福
徳聖徒団

(吉田亮善団長)

吉川 恵美子さん
「身延大会は三回目、この輪袈裟は義母から受け継ぐ輪袈裟です。秋の大会はとても良いですね。参加するたびに喜びを感じて、ますます精進しなければならぬと思います。」



愛媛県
本妙寺
聖徒団

(村口泰慈団長)

左 越智 弘子さん(身延大会二十回目)
右 青野 礼子さん(身延大会一回目)
「身延大会は二十回目です。いつ来ても清々しい気持ちになります。元気で参加できる事が嬉しく、それが喜びです。」(越智弘子さん)

愛知県本成寺聖徒団

十一月二十日、愛

知県本成寺聖徒団(天野行淳団長)において御会式並びに上菅大観音大祭が行われ、聖徒と共に御題目修行に励んだ。高さ七メートルの観音像は、日頃から多くの住民が手を合わせ地域のシンボルとして親しまれ、優しいお顔で街を見下ろしている。



分かりやすい田平先生の講義

感想文



本成寺聖徒団
小林 由典さん

田平講師のお話はこのような内容でした。病院嫌いのご主人のためにご婦人が九識靈断法を受けた結果、症状が良くないことが分かった。それから家族全員で俱生神月守を着帯することとなり、お題目を唱え、当病平癒の祈願を一所懸命行つた結果、ご主人が病院へ行き治療を受けるようになった。人は皆、お釈迦さまから仏性(仏の心)を授かっている、このご家族は一所懸命にお祈りしたことにより、家族全員の仏性が現れて良い結果に結びついたのではないかと、というお話でした。

私は改めて、困ったときの九識靈断法の必要性、俱生神月守のありがたさを感じました。田平講師には遠方よりありがとうございました。



本成寺聖徒団
伊藤 廉子さん

御題目と共に迎えられた講師先生に高座説教をしていただき、また、やわらかなお声で地元の世界遺産石見銀山から「身近な大切なもの」のお話を始められました。

せつかく与えられているのに気付いていない恵みがすぐそばにあるのではとのこと。我が身をしみじみと省みる思いでした。続いて、病気をされた方とご家族の話で、家族の健康こそが正に第一の望みであると、このこ



本成寺聖徒団
中原 敏康さん

とは本当に共感させていただくお話でした。結びにめりはりのある所作と七五調で語られる御法難のさまに集中しているうちに、あつという間の一時間で、冬に向かうのに何か胸の内に温かい心の糧をいただいて帰路につきました。ありがとうございました。

この日、御会式並びに大祭は大聖人の教えを胸に、厳肅に執り行われ意義深い法要となりました。

実は妙蓮寺様は、私達の両親とそれ以前からの長きに亘り菩提寺として仕えてきたお寺であります。両親が亡くなり名古屋に居を構えた私たちは縁があつて本成寺様にお世話になることとなりました。時を同じくして田平上人がお寺の再興をかけて活動を展開され始めたことと存じますが、立派に成長されたお上人の姿に接し、涙の出る思いでした。

お上人の法話にありましたように、我が心にある仏性を信じて教えを守り、手を合わせ法華経・お題目の信仰者として心新たに精進する所存です。この先もみ教えを賜りますようお願い申し上げます。

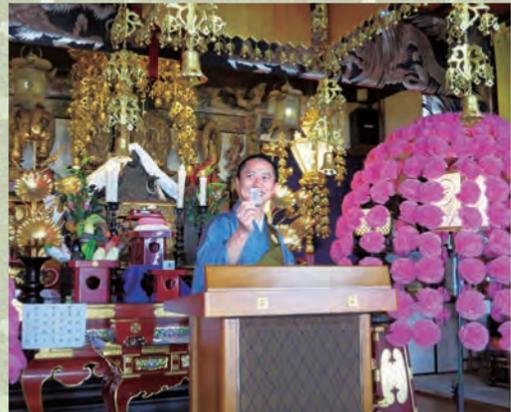
全国各地で「一日伝道」を開催

和歌山県和歌山市妙宣寺

十一月七日、午前十時から和歌山県和歌山市妙宣寺聖徒団(蘆田恵教団長)に於いて、百名の参列者の中、日蓮大聖人の第七三五回のお会式法要に併せて、本部教宣部出版課長・吉田憲由講師による一日伝道が開催された。

吉田憲由講師は、「縁」について、私達の人生は縁の繋がりによって出来ている。縁と縁が結びつき、またその縁が新しい縁と結びつき、佛さまになる、幸せになることも縁によって導かれていくものであり、南無妙法蓮華

経に出会えた縁、俱生神月守に出会えた縁も、生まれ変わりに死に変わりを繰り返して出会えたものである。と話された。



身振り手振りを交えながらの
吉田憲由講師

す。これからの出会えた縁に感謝しながら御題目の修行に精進してください」と、丁寧な口調で、時に身振り手振りを交えながら、力強く楽しい話に聖徒は皆熱心に聞き入っていた。

笑顔と涙とよろこびを頂いた一日伝道は拍手の中終了した。

明けまして おめでとうございます

～日蓮宗靈断師会～



日蓮宗靈断師会終身名誉会長
感通寺聖徒団団長

新間 智雄

副団長

新間 正興

〒一六二〇〇四四
東京都新宿区喜久井町三九
TEL〇三三三〇九一八七八二
FAX〇三三三〇八七九六六

日蓮宗靈断師会終身名誉顧問
妙本寺福德聖徒団団長

吉田 亮善

〒六九一〇〇四二
島根県出雲市十六島町二五二
TEL〇八五三一六六〇五六八
FAX〇八五三一六六〇五七一

日蓮宗靈断師会会長
利生寺聖徒団団長

末吉 観道

副団長

末吉 正道

〒九三〇〇〇五五
富山県富山市梅沢町三一六一〇
TEL〇七六四四二一八七七六
FAX〇七六四四二一八二五〇

日蓮宗靈断師会副会長
真浄寺聖徒団団長

建 光行

〒八七一〇七二六
大分県中津市山国町中摩六三一五
TEL〇九七九一六二二七三六
FAX兼用

日蓮宗靈断師会副会長
正蓮寺聖徒団団長

大塩 孝信

副団長

大塩 裕孝

〒二九〇〇一五二
千葉県市原市瀬又二三四一
TEL〇四三六五二一〇二〇七
FAX〇四三六五二二二八八

日蓮宗靈断師会名誉会長
仙寿院院首

芝崎 惠璋

日蓮宗靈断師会副会長
仙寿院聖徒団団長

芝崎 惠應

〒二〇六〇〇二二
岩手県金石市大只越町二一九一
TEL〇一九三二二二二五六
FAX〇一九三二二二二五〇

日蓮宗靈断師会靈断院副院長
妙福寺聖徒団団長

野澤 壯監

東日本大震災等種々災害被災地被災者の復興を心よりお祈り申し上げますと共に全国聖徒団の法運隆昌をお祈りいたします
〒三三九一三三二
栃木県さくら市馬場一〇八一

実相寺聖徒団団長
日蓮宗宗会議員

松永 慈弘

〒三三二一〇〇四
埼玉県川口市領家二一四一
TEL〇四八二二二四五六六
FAX〇四八二二二二六八〇七

日蓮宗靈断師会本部長
本成寺聖徒団団長

天野 行淳

副団長

天野 行佑

〒四六五〇〇一四
愛知県名古屋市中区上菅一三〇三
TEL〇五二七七七一七四七四
FAX〇五二七七七一七五七二

青森県聞法寺聖徒団

住職 工藤 堯幸 副住職 工藤 堯慎
護持会長 最上 一
総代 宮田 博光 木浪 達義
信令会長 最上 誠規 副会長 松山 渉
専部長 掛村 隆二

外信徒一同

〒三〇三〇一四〇三
青森県東津軽郡外ヶ浜町平館字田五二二
TEL〇一七四二二五二七二二
FAX〇一七四二二五二六〇七

法華寺聖徒団団長

阿部 是秀

靈断師 阿部 是眞
靈断師 菊池 是宏
靈断師 東 是宏

〒二〇二八〇三〇四
岩手県遠野市宮守町下宮守三一六九一
TEL〇一九八六七一三二六六
FAX〇一九八六七一三二二七
一人でも多くの方々に俱生神月守様を身に
着けて生きて、幸せをしっかりと体感して欲
しいと願っております。

新潟県靈断師会会長(理事)
本妙寺聖徒団団長

小林 義明

〒九五九一〇二二
新潟県阿賀野市中央町一三一一
TEL〇二五〇一六三二八九六二
FAX〇二五〇一六二二二五〇二

長宗寺院首
光枝 海元

東京都靈断師会会長(理事)
長宗寺聖徒団団長

光枝 浩生

〒一〇〇〇四〇二
東京都新島村本村三一四
TEL〇四九九二一五〇一六八
FAX〇四九九二一五〇一六一

岐阜県靈断師会会長(理事)
美濃常唱寺聖徒団団長

阪口 慈幸

〒五〇一三七三四
岐阜県美濃市千畝町二七三八一二
TEL〇五七五一三三一四三〇
FAX兼用

日蓮宗靈断師会副本部長・聖徒部長
妙法寺聖徒団団長

蔵本 知宏

〒六九八〇〇二二
島根県益田市幸町一一一七
TEL〇八五六二二二二二二六
FAX〇八五六二二二二二二六

日蓮宗靈断師会総務部長
照恵寺聖徒団団長

品田 祥皓

〒〇五五〇一〇四
北海道沙流郡平取町柴雲古津二二二七
TEL〇一四五七一一三二二七
FAX〇一四五七一一三二二七

日蓮宗霊断師会教務部長
妙親寺聖徒団团长

廣田 学良

〒八七〇〇八三四
大分県大分市上野丘西五十五
TEL〇九七五五四五〇七〇八
FAX兼用

日蓮宗霊断師会教宣部長

松本 惠昌

知見会信行寺聖徒団团长
和歌山県和歌市杭ノ瀬五六一五
TEL・FAX〇七三三四七一一八二五二
知見会海禅院聖徒団团长
和歌山県和歌山市和歌浦中三二四二八
TEL〇七三三四四七一八八九〇
FAX〇七三三四九四九四九六
(顕彰会事務局)

日蓮宗霊断師会霊断院教学部長
顕本寺聖徒団团长

小泉 輝泰

〒二九五〇〇〇二
千葉県南房総市千倉川合六九〇一一
TEL〇四七〇四四一〇六二
FAX〇四七〇四四一〇二四

日蓮宗霊断師会霊断院霊断部長
妙泉寺聖徒団团长

石黒 泰良

毎月、自坊にて「霊断塾」を開催しております。
霊断布教に燃えるあなたをお待ちしております。
詳細は、お問い合わせ下さい。
〒四六一〇〇〇五
愛知県名古屋市中区東桜二一六四三
TEL〇五二一九三一八四九〇
FAX〇五二一九三一八四九一

島根県霊断師会

会長 堀江 泰誠
副会長 新間 信應
事務局 河瀬 真承
梅木 孝健
文谷 一 同
職員

日蓮宗青森県霊断師会

会長 飛鳥 玄龍
副会長 工藤 泰輝 幹事長 對馬 央丈
総務 川上 洋行 霊断書 工藤 堯慎
庶務 葛原 主静 伝道書 横山 秀悠
会計 木立 智大
通信員 山崎 随祥 山田 瀧仙
顧問 工藤 堯幸
小野 泰幹
会員三十四名

真成寺聖徒団团长

谷川 寛俊

副团长 谷川 寛敬
〒九三七〇八六七
富山県魚津市真成寺町四一六
TEL〇七六五二二二二二六八
FAX〇七六五二二二二二六八

神奈川県霊断師会会長(常任理事)
本典寺聖徒団团长

戸田 教栄

〒二五六〇八二六
神奈川県小田原市酒匂三一―一七
TEL〇四六五―四七―四八―一三
FAX〇四六五―四九―一三五―三二

宮・鹿・沖霊断師会

顧問 吉田 海心 会計 吉良 貴徳
監事 片寄 智雄 会員 白水 裕子
会長 吉田 静正 海野 資子
事務局 吉田 憲由 片寄 智康

日蓮宗事務参与
本東寺聖徒団团长

吉田 海心

日蓮宗断師会九州教区長(常任理事)
吉田 静正
〒八八二〇〇六二
宮崎県延岡市松山町一―三三
TEL〇九八二―三三―三三八―二七
FAX〇九八二―三三―一八七―九〇

大分県霊断師会

会長 廣田 学良 会員 建 栄子
副会長 飯盛 義教 会員 三ヶ尻りつ子
監事 杉本 顕誠 会員 三ヶ尻和生
三ヶ尻学生 会員 杉本 尚子
事務局 後藤 正軌 会員 廣田 祥子
会員 建 光行 会員 廣田 千城

三重県霊断師会会長(理事)
追分教会聖徒団团长

高鍋 鳳憲

〒五一〇〇八八二
三重県四日市市追分二―一五―二
TEL〇五九―三四六―三六七―七
FAX兼用

小足山常昌寺聖徒団团长
平成三十六年創立七〇〇年

早瀬 光玄

〒五二六〇八四一
滋賀県長浜市新栄町四〇―二
TEL〇七四九―六二―四四九―二
FAX兼用

圓融寺聖徒団团长

山口 忠信

〒六七五―三三〇二
兵庫県加西市北条町栗田三三三八
TEL〇七九〇―四二―二二―一八
FAX〇七九〇―四二―〇三九―七

日蓮宗断師会総務部庶務財務課長
長栄寺聖徒団

光枝 妙珠

〒一〇〇〇四〇二
東京都新島村本村三一―一四
TEL〇四九九―二五―〇一―六八
FAX〇四九九―二五―〇一―一一

日蓮宗断師会総務部組織課長
常唱寺聖徒団副团长

阪口 映徳

〒五〇一―三三三四
岐阜県美濃市千畝町二七三八―二
TEL〇五七五―三三―一四三―〇
FAX兼用

日蓮宗断師会教務部指導課長
妙法寺番聖徒団团长

新聞 信應

〒六九〇―二四〇四
島根県雲南市三万屋町三万屋一―六九
TEL〇八五四―四五―一三六―五七
FAX〇八五四―四五―一三六―六六

日蓮宗断師会教務部講習課長
蓮正寺聖徒団团长

飯盛 義教

〒八七九―五五〇四
大分県由布市挾間町下市五三三六
TEL〇九七―五八三―〇五四―六
FAX〇九七―五八三―〇六九―八

日蓮宗断師会聖徒部事業課長
長栄山妙福寺聖徒団团长

大森 映孝

〒三三九―二二二一
栃木県塩谷郡高根沢町亀梨五一―四
TEL〇二八―六七六―一二四―七
FAX兼用

日蓮宗断師会聖徒部布教課長
七面山道円寺芦屋の七面様聖徒団团长

飛鳥 玄龍

〒〇三八―三二二二
青森県つがる市木造川除栄盛七
TEL〇一七三―四二―一三六―四九
FAX兼用

日蓮宗断師会教宣部教宣課長
妙宣寺聖徒団团长

蘆田 恵教

〒六四一―〇〇四二
和歌山県和歌山市新堀東二―一―一八
TEL〇七三―四二―二七九―六八
FAX〇七三―四二―二五―二九〇―五

日蓮宗断師会教宣部出版課長
龍雲寺聖徒団团长

吉田 憲由

教誌・よろこびを読んで
一緒に信仰を学びましょう!
〒八八九―二〇〇一
宮崎県児湯郡都農町川北三七二〇

ひとりでも悩まずに くしきれいだんほう 九識霊断法



人生には必ず活路があります。
日々の生活における悩みや不安を
取り払い、満ち足りた生活の手助
けとなるべく、「九識霊断法」と
いう法術があります。
信仰しているお寺にご相談くださ
い。※完全予約制

家族みんなを着帯しましょう



くしじんつしまり
俱生神月守

- 家族みんなを着帯しましょう…家庭円満に安心して過ごせます。
- 知人の悩みにも…分かち合うことの喜びを味わえます。
- 引越しや旅行の時に…方位除け・盗難除けとして。
- 霊断を受けたら…まず着帯して下さい。良い結果が訪れます。

全国の聖徒さん紹介

兵庫県 宝泉寺聖徒団

(鳥居恵教団長)

安木 重義さん 七十一歳

変化(へんげ)の人

安木重義さんは教育一筋で、若い頃はソフトボール部の熱血顧問としてチームを県のベスト4へと導き、地元中学校、高等学校の校長や教育事務所長を歴任。宝泉寺の筆頭総代として、獅子奮迅の働きは住職の右腕というより、まるで両腕のような存在。二十三年もの間無住だったお寺に住職を迎えることに始まり、庫裏の新築、本堂屋根替えを僅か数年で仕上げ、統率力は圧巻。退職して十年以上過ぎた今、仕事の速さも完成度も衰えるところを知らない。

平成十九年に住職が九識靈断法の相伝をうけるや毎月家族全員で俱生神月守を着帯し、同居する娘さんも赤ちゃんを三人授かり、昨年は七十年ぶりに安木家に待望の男子誕生。「思い出は作るものでえ。」と優しく語る安木さんの言葉には家族への愛情、お寺への愛情、地域への愛情が溢れている。



第十三回北海道妙正寺聖徒団 齊祥閣聖徒団 清道衆講習会を開催

十一月二十日(日)北海道東川町妙正寺本堂に於いて妙正寺聖徒団・齊祥閣聖徒団二ヶ寺合同の清道衆講習会が開催された。

参加人数は三十七名、本部より光枝妙珠講師が出席し今回で十三回目になる。

講義では、光枝講師の自己紹介に始まり「仏教と他宗教の違い」「お釈迦様の教え」「新しい仏教の誕生」等、テキストを読み進めながら、自身の体験談を交え、お題目の功德、お題目の有り難さ、俱生神月守の着帯の大切さを楽しく分かりやすく伝えた。

女性の講師ならではの、しなやかな柔らかい語り口で水が染み込むように聖徒の心に伝わっていった。講義の中では、大変めずらしい新島に伝わる「ふし題目」をご披露していただき、一同一心に手を合わせ感動の清道講習会となった。

清道衆講習会を受講して

深山 堅悦さん

本年十三回となる清道衆講習会に参加でき、本部から光枝先生に北海道までお越しいただき感謝申し上げます。

お題目による信仰の意味、信仰の体験、俱生神月守の有り難さをとてもわかりやすく教えていただきました。そして折り・悟り・行いの三大秘法をよく守り、自分自身の信仰を深めていきたいと改めて実感しました。

また日々のご加護に感謝をして過ごしていきたいと思えます。本当にありがとうございます。



清道衆講習会終了後にみんなで記念撮影



しなやかな柔らかい語り口の光枝先生

第六十三回 日蓮大聖人の歩まれた道

諸国への遊学(その十六)

靈断院教学部長

小泉 輝泰

「同十月二十八日に佐渡の国へ着きぬ。十一月一日に、六郎左衛門が家のうしろみの家より塚原と申す山野の中に、洛陽の蓮台野のやうに死人を捨る所に、一間四面なる堂の佛もなし」(種種御振舞御書)

円爾や蘭溪道隆を訪ねた後、蓮長は京の都に滞在したと言われています。

冒頭のご文章は、後に大聖人が佐渡流罪の際に幽閉された塚原三味堂の様子を記したもので、面白いのは、ここに「洛陽の蓮台野のや(よ)うに」という譬えが見られます。

蓮台野とは、当時の京都で風葬を行うための葬送地でした。今でこそ、人が亡くなれば火葬を行うのが一般的となつていますが、しかし当時は大量の薪を燃やして遺体を荼毘に付す、あるいはきちんとした棺に納め副葬品と共に埋葬するなど、裕福な上流階級者だけが行える贅沢な葬送方で、貧しい暮らしを送る庶民には到底かなうものではありませんでした。そのため一般



庶民は、洛外に運んで何日も野に晒し、風化するのを待つ風葬を行っていました。その風葬を行うための葬送地が、嵐山北部にある化野、東山の鳥部野、そして船岡山の北西一帯の蓮台野であったのです。

蓮長が京都を巡つた詳しい足取りは、もちろん知る術もありません。しかし少なくとも当時の蓮台野を訪れ、その光景を目にしていたことはこのご文章を見ても明らかです。

佐渡の塚原も「死人を捨る所」とあるように、やはり蓮台野と同じく葬送地でした。雪深い極寒の佐渡での厳しい生活も相まって、かつてご自身が蓮長として各地を巡っていた頃、京都にて目にした蓮台野のもの悲しい光景を、ふと大聖人は思い出されたのでしょうか。

鎌倉時代の人々の悲惨な暮らしぶりは、もはやご説明するまでもないこと。大聖人も折に触れ、その惨状を書き記されておられます。それを思えば、飢えや病、度重なる災害や争いにて命を落とした人々の骸が、文字通り山のように横たわっていたに違いありません。そこには平穩に寿命を迎えられた者など殆どなく、数年、数ヶ月しか生きられなかった幼き子供の哀れな亡骸は、蓮長にこの娑婆世界が末法を迎えていることを、改めて知らしめているのです。

北関東教区会議を開催

九月五日、茨城県取手市瑞法

光寺において北関東教区会議が開催され、十一名が出席し、各単会の活動状況、要望、質問等が話し合われた。

各単会で会員数の減少があるものの、埼玉、栃木、茨城では年に数回の活動を続けており、今後もより一層、単会の活性化と新規の靈断師育成に力を注い

でいくことで一致した。

新規の靈断師育成、今の靈断師のスキル向上、自坊における靈断法のアピールの方法などが話し合われ、今後は講習会等でたくさんの靈断師同士が話し合える機会がほしいことが要望として上がり、大変有意義な会議は幕を閉じた。

京浜地区合同研修会を開催

九月二十六日月曜日、池上会館において東京都・神奈川県

京浜地区合同で「日蓮教学と伝え方」というテーマのもと教師二十二名が集まった。講師は小泉輝泰教学部長・石黒泰良靈断部長。両部長から宗祖の教学を

分かりやすく講義いただき、実際の教えとしてどのように伝えたいかということを勉強する機会となった。

講義中では自身の境遇と照らし、講師の言葉に涙を浮かべながら実体験を通しての教学と布教ということを中心に話をいただいた。また石黒部長は名古屋

青少年育成委員・保護司という立場を通していかに現代の世相とともに寄り添った布教ができるかということにふれ、有意義な研修会となった。

質疑応答の時間には自身が課題としていることに親身になつて答えていただき、涙あき、笑いありの和やかな研修会となった。



熱心に聞き入る参加者

ほつと 絵手紙



宮崎県の大橋厚子さんの絵手紙です。ありがとうございました。



大分県杵築市妙経寺聖徒団の後藤宏子さんからの絵手紙です。ありがとうございました。

よろこび法話

『変化の人』 ～覚悟の信仰～



日蓮宗靈断師会靈断院靈断部主任
愛知県豊田市立正教会聖徒団団長
永田 完英

法華経の第十番目、法師品に
則ち変化の人を遣わして、之が為に衛護と
作さん
とあります。

日常的によく読まれている「欲令衆」の中
にもあるように、このお経文は折々で読まれ
るものであります。この一節は「法華経を持
ち、人々に弘め伝えようとする人々に対して、
杖で叩いたり、石を投げつけたりと様々な危
害を加える者が現れたならば、仏様が姿を変
えてその人々の前に現れ、護って下さるであ
ろう」と意識されます。ただ、間違っても自
分にとって大きな災難が起こった時に仏様が
現れて護ってくれるというものではなく、毎
日の生活の中の、些細な出来事からも「私に
とつての変化の人だ」また「人は一人で生き
ているのではない」といった視点を持ち続け

なさいというお釈迦様の御訓示であると捉え
るべきなのです。

いつも盛運祈願会の日には誰よりも早く来寺
して、お茶を飲みながらああでもないこうで
もないと話をするKさん。昭和四年生まれ
で、今年米寿になる元気な聖徒さんです。も
とも曹洞宗のお檀家さんでしたが、ご縁を
頂いて当山のお檀家さんへと改宗されまし
た。私の祖父である先代は、「寄り加持祈祷
」という祈祷方法を用いて布教をしておりま
した。隣村へも教宣を拡大していて、その情
報はKさんの耳にも入ってききました。当時K
さんの身の回りで不可解な出来事が多く起こ
り、これはただ事ではないと思ひ、お寺に来
られたのが始まりであります。先代住職がK
さんのお宅でご祈祷をし、問題を解決する時
に、「お題目を唱え続ける覚悟はあるか！」
と大きな声で尋ねられ、それはKさんがうな
ずく事しか出来ないくらいの気迫だったそう
です。しかし「今の自分があるのは先代のこ
の言葉のおかげなんだよ」とよく話していま
した。

この一件から改宗する覚悟を決められ、家
族・親戚全ての家を回り、頭を下げて承諾を
得たのです。それからというもの「お寺のた
めに」と草刈りを初め、お寺の内外の整備を
献身的によく行って下さいました。Kさんが
中心となってお寺を盛り上げてくれたので
す。私が靈断師になったことを報告するとす
ぐに俱生神月守を着帯し、盛運祈願会にも休
まず参詣されていました。

ある日、K
さん宅での月
回向を終え自
坊に帰って
きた夕方に
電話が鳴りま
した。「Kさ
んが倒れて
病院に運ばれ
た：。」え？
さつきはあん
なに元気で一
緒にお参りし



てたのに・・・しかしKさんにも変化の人
が現れたのです。数日前より風呂釜の調子が
悪く、ちょうどこの日に修理していた業者さ
んが倒れていたKさんを発見し、すぐに救急
車を呼んでくれました。Kさんは二年前に奥
さんを亡くされて一人暮らしをしていたの
で「もし業者さんがいなくなったら・・・」と
考えると、「Kさんは仏様に生かされたんだ」
と思わずにはいられませんでした。月守を着
帯し、朝晩団扇太鼓を打ち鳴らしお題目を唱
えていたKさんに御本仏様は大慈大悲の大利
益をお授け下さったのです。

三ヶ月程の入院生活を終え、自宅に戻られ
たKさんを探ねてみるとすっかり痩せてベッ
ドで横になっていました。しかし「すっかり
鈍っちゃったよ。でもお守のお陰で助けられ
た。それからこんな状況だからかもしれないが
息子が手伝ってくれるようになって嬉しいん
だ。」と救いと月守の有り難さを話してくれ
ました。

日蓮大聖人御妙判「諸法実相鈔」に
我もいたし、人をも教化候へ

とあります。覚悟を決めてから、心の底か
ら信心を起こし、そのよろこびを他の人へも
伝える。これこそ日蓮大聖人のお弟子であり、
聖徒であります。そしてこのKさんの信仰姿
勢や行動は私にとってまさに「変化の人」で
あります。俱生神月守を着帯されている皆さ
まも悩んだり、迷ったりしている人に優しく
手を差し伸べ、その人にとっての変化の人と
なり、みんなでよろこびを共有していける世
の中を目指して参りましょう。

本誌イラスト 小川けんいち

全国のよろこびちゃん vol. 38



もうすぐ三姉妹

大阪府松原市
本了寺聖徒団
(田中一寛団長)

田中 稟 結珠 6歳
田中 凜 2歳

はやく妹に逢いたくて二人で楽しみにしています。
いつも妹の面倒を見てお母さんのお手伝いをしています。
たまに喧嘩もするけどとても仲よし姉妹です。

全国のよろこびちゃん vol. 37



愛知県
立正教会聖徒団

ながたりのすけ
永田 琉之 佑くん
平成28年1月29日生まれ

仏様のご加護の下、パパとママ、
そして聖徒の皆さんの愛情を受
けてすくすく育ってます。
人のためになれる人になります
ように！

全国のよろこびちゃんを募集しています！

砥森山
法華寺

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀
副住職 阿部 是眞

〒028-0304
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1
電話 0198-67-3166
FAX 0198-67-2227

安房乃國隨一
三十番神祈願道場

顕本寺聖徒団
団長 小泉 輝泰

「1人で悩まず、まずは相談」
〒295-0002
千葉県南房総市千倉町川合690-1
TEL 0470-44-1062
FAX 0470-44-1524

信用第一の専門店

◇格調高い関東風仏具◇

宗務院指定

仏壇・仏具 仏像彫刻
内陣莊嚴具 設計製作

(株)中野三佛屋

東京都台東区寿2丁目7の12
電話 03 (3843) 6951
FAX 03 (3843) 6973
定休日 日曜日

利生寺

日蓮宗靈断師会会長
利生寺聖徒団団長

末吉 観道

〒930-0055 富山県富山市梅沢町3-16-10
TEL 076-421-8776 FAX 076-421-8250

正蓮寺

日蓮宗靈断師会 副会長
日蓮宗宗会議員
正蓮寺聖徒団 団長

大塩 孝信

〒290-0151 千葉県原市瀬又134-1
TEL 0436-52-0207
FAX 0436-52-2288